

上智大学
履修要覧
〔学部科目編〕

2021年

本学の教育理念

上智大学は、キリスト教精神を基底とし、真実と価値を求めて、人間形成につとめるものの共同社会である。したがって、本学は、構成員のおのおのが、人格の尊厳と基本的人権を認め合い、責任ある連帯感と謙虚な心構えをもって、それぞれの持ち場で大学の形成に参加することを期待する。

教授は、学術の研究を尊重し、みずからの研究を深めることを通して、人類の精神的・知的文化を新しい世代に伝達するとともに、現代に生起する諸問題に目をそそぎ、人類の当面する課題について、意識を喚起するよう心掛けることが必要である。

学生は、専攻の学問を研究すると同時に、現代社会に対する鋭敏な問題意識と判断力を養成することが必要である。これによって、学生はみずからの人格を形成し、社会の建設に貢献する力を身につけることができるのである。

本学は、その特色をいかして、キリスト教とその文化を研究する機会を提供する。これと同時に、本学は思想の多様性を認め、多種の思想の学問的研究を奨励する。このようにして、人間と世界の問題についての洞察力と批判的精神が養われる。

学問の発展のためには、思想と研究の自由が保障され、厳正な学問的態度が堅持されなければならない。したがって、本学は思想と研究に対して加えられる政治的、イデオロギー的圧力及びいかなる権力の介入も、これを許さない。

われわれは、激動する現代世界に向かって広く窓を開き、人類の希望と苦悩をわかちあい、世界の福祉と創造的進歩に奉仕することを念願する。



【校章と校名（ソフィア）の由来】

校章の鷲は真理の光を目ざして力強くはばたく鷲をかたどったもので、その姿は上智大学の本質と理想とを表わしている。

中央にしるされた文字は、本学の標語「真理の光」Lux Veritatisの頭文字である。

上智大学は、海外では早くからソフィア・ユニバーシティの名で親しまれてきたが、このソフィアはギリシア語のΣΟΦΙΑからとったものであり、その意味は「人を望ましい人間へと高める最上の叡智」である。この叡智こそ本学が学生に与えようとする究極のものであり、本学の名称“上智”(SOPHIA)にほかならない。

目 次

本学の教育理念……………(2)		
開講科目担当表の見方……………(5)		
1. 全学共通科目	全学共通科目について……………(9)	
	全学共通科目(構成および履修上の規定)……………(15)	
	「ウエルネスと身体(必修)」履修上の注意……………(22)	
	「キリスト教人間学」科目群履修上の注意……………(24)	
	「選択科目」履修上の注意……………(26)	
	「高学年向け教養科目(選択)」履修上の注意……………(26)	
	開講科目担当表……………(27)	
2. グローバル教育センター	グローバル教育センターについて……………(50)	
	インターンシップ科目……………(52)	
	グローバル・コンピテンシー・プログラム……………(54)	
	データサイエンスプログラム……………(83)	
	海外短期研修……………(84)	
	実践型プログラム……………(85)	
SUMMER SESSION IN EAST ASIAN STUDIES AND JAPANESE LANGUAGE……………(89)		
3. 履修プログラム	死生学履修プログラムについて……………(92)	
	死生学履修プログラム科目一覧……………(93)	
	インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラムについて……………(97)	
	インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラム科目一覧……………(98)	
4. 語 学 科 目	語学科目について……………(103)	コリア語……………(130)
	学科別履修指定言語……………(108)	ロシア語・(ブラジル)ポルトガル語……………(133)
	英語……………(112)	ラテン語……………(134)
	初習言語(全般)……………(126)	アジア・アフリカ諸語……………(135)
	ドイツ語……………(130)	履修科目対応表(15年次生以前対象)……………(136)
	フランス語……………(130)	日本語・翻訳科目……………(142)
	イスパニア語……………(130)	海外短期語学講座……………(147)
	イタリア語……………(130)	交換留学海外英語集中講座……………(148)
	中国語……………(130)	開講科目担当表……………(149)
	5. 神 学 部	神学科……………(178)
6. 文 学 部	文学部横断型人文学プログラム……………(200)	
	哲学科……………(207)	ドイツ文学科……………(276)
	史学科……………(226)	フランス文学科……………(292)
	国文学科……………(242)	新聞学科……………(308)
	英文学科……………(255)	
7. 総合人間科学部	総合人間科学部について……………(332)	社会学科……………(366)
	教育学科……………(335)	社会福祉学科……………(382)
	心理学科……………(352)	看護学科……………(408)
8. 法 学 部	法律学科・国際関係法学科・地球環境法学科共通……………(426)	
	法律学科……………(439)	地球環境法学科……………(463)
	国際関係法学科……………(452)	
9. 経 済 学 部	経済学科……………(478)	経済学部共通……………(516)
	経営学科……………(497)	

10. 外国語学部 (14年次生以降)	外国語学部について.....	(519)
	英語学科.....	(524)
	ドイツ語学科.....	(537)
	フランス語学科.....	(547)
	イスパニア語学科.....	(555)
	ロシア語学科.....	(564)
	ポルトガル語学科.....	(573)
	北米研究コース.....	(581)
	ヨーロッパ研究コース.....	(587)
	ラテンアメリカ研究コース.....	(596)
	ロシア・ユーラシア研究コース.....	(602)
	言語研究コース.....	(607)
	アジア研究コース.....	(616)
	中東・アフリカ研究コース.....	(622)
国際政治論研究コース.....	(628)	
市民社会・国際協力論研究コース.....	(635)	
11. 総合グローバル学部	総合グローバル学科.....	(643)
12. 国際教養学部	国際教養学部.....	(665)
13. 理工学部	理工学部の学生諸君へ・理工学部共通科目.....	(668)
	物質生命理工学科.....	(688)
	機能創造理工学科.....	(703)
	情報理工学科.....	(718)

※教職課程科目及び学芸員課程科目については、『履修要覧〔課程編〕』を参照してください。

開講科目担当表の見方

開講科目担当表において、備考欄に（他）と記載している他学部他学科科目については、開講期と担当者、履修年次は記載してありません（一部学部には記載あり）。

必要情報は開講元のページを参照するか、Loyolaの時間割参照、シラバス検索から確認するようにしてください。

また、授業を全て外国語で実施する科目は「外国語で行う授業欄」に○で示しています。

[] は抽選科目を示す。
[] 内は定員

科目コードが同一の科目は、原則として重複履修できない。
(重複して履修しても卒業単位にはならない)

授業を全て外国語で実施する科目

別科目名の授業と合同で行われる場合もある。

科目の分野とレベルを示す。

*は非常勤教員を示す。

同一の授業において複数の教員が同時に担当する科目

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	学 科 科 目 C 群	158006	AAA101	社会心理学入門 I	2	春	上智 花子	1~4	[200名]	
		280403	BBB102	イギリス文学研究 I	2	春	*紀尾井 太郎	2~4		
		700517	CCC201	地球環境とその生物	1	秋	四ツ谷 次郎 市谷 良子 千代田 三郎	1~3	「地球環境概論」と合併	
		776160	CCC202	化学実験	2		*目白 肇	3・4	夏期集中	
		761016	DDD301	ドイツ文化と発展	2	休講		2・3	○ 隔年開講	
		700219	EEE302	次世代テクノロジー	1	春	石神井 香	2	同時担当	
		550929	FFF401	貧困と格差1	2	春	コーディネータ 秦野 唯	1	輪講 旧「貧困と格差」	
		950300	GGG402	キリスト教と哲学 I	2				(他) 神学部	
		他学部他学科科目			他学部他学科開講科目担当表を参照			09年次以降・・・20単位まで 選択科目に算入可		
		course : IBE で開講されているすべての科目						08年次以前・・・12単位まで 選択科目に算入可 (他) 国際教養学部		

今年度休講の科目

複数教員により輪講形式で行われる科目

履修対象とする年次。この年次以外の学生で履修を希望する学生は、担当教員の許可を得てから登録すること。

備考欄には重要な注意が書かれているので見落とさないこと。

他学部他学科開講科目であるが、自学科の科目として扱うことのできるもの。
開講元が記載されているので開講期、担当者、履修年次などの情報は開講学科のページを参照すること。

◎ 担当表欄外にも履修に関する注意事項が記載されているので、必ず確認すること。